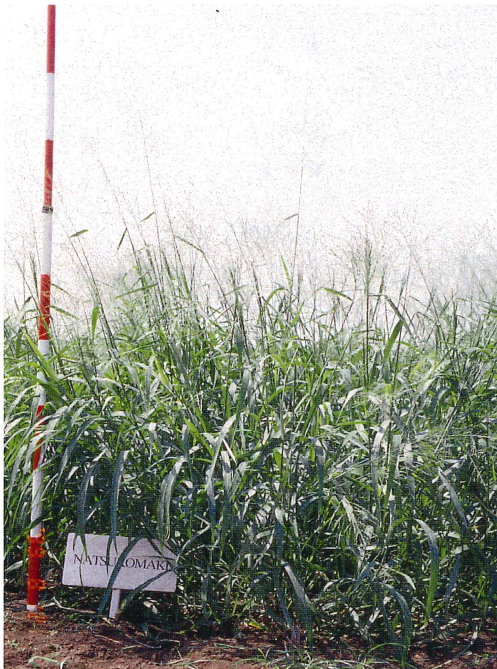


登録品種 海外持出禁止（公示（農林水産省HP）参照）

乾草と ラップサイレージ調製が 容易な ギニアグラス「ナツコマキ」

ナツコマキは極早生で細茎・小型を特徴とし、初期生育と踏圧抵抗性に優れ、九州～関東以南で夏作一年生牧草として栽培できます。
放牧すると、牛が良く食べ良好な増体が得られます。

7月中旬に出穂する極早生品種です。



出穂始めの草丈は 120cm 程度です。

収穫・調製作業にはイタリアンライグラス用の中型機械が利用できます。

茎が細くしなやかなので、ストレッチフィルムを破損しにくい品種です。

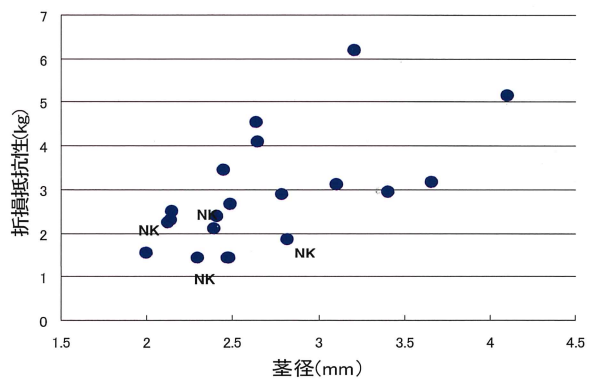


図 茎の太さと硬さ (NK:ナツコマキ)



写真 ナツコマキ（左）とナツカゼ（右）の踏圧抵抗性

踏圧抵抗性が強いので2番草を利用できます。

極早生のナツコマキと中生のナツユタカを組み合わせると、収穫・調製作業の労働が分散されます。

★ナツコマキの栽培・利用法

1) 乾草・ラップサイレージ利用

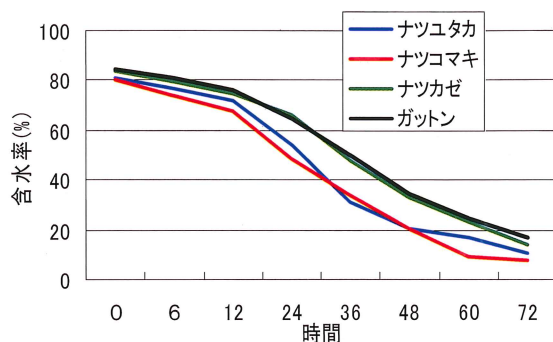


図 ナツコマキ茎葉の乾燥速度

茎葉の乾燥速度が速いため、良質な乾草やラップサイレージができます。

牛の嗜好性が良い TDN 含量の高い乾草を作ることができます。

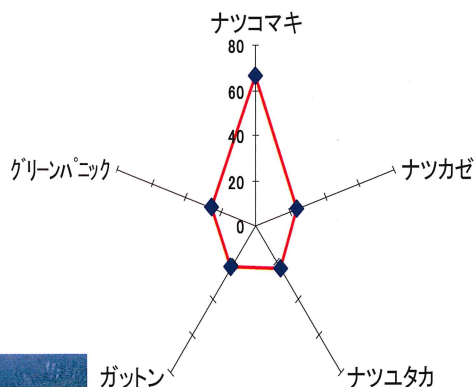


図 ギニアグラス乾草の採食率

2) 放牧利用



播種して1か月目から放牧でき、その後輪間放牧で10月まで利用できます。

草高が30～40cmになったら入牧します。

緻密なナツコマキの草地ができます。

写真 ナツコマキ草地での放牧

★ナツコマキの特徴

九州で5月上旬に播種すると7月中旬に出穂し、成熟時の草丈は1.8m程度です。

ギニアグラスでは極早生品種に属します。

踏圧抵抗性は強く、機械収穫に適しており、2番草利用が可能です。

茎葉の乾燥速度が早く、乾草・ラップサイレージ利用に向きます。

放牧利用にも適しています。

【育成機関】問い合わせ先：

(独)九州沖縄農業研究センター 合志拠点
畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ
Tel. 096-242-1150 Fax. 096-249-1002